

自家用貨物自動車等の日常点検チェック・シート

自家用貨物自動車（ライトバン、トラックなど）は1日1回、運行前に日常点検を実施することになっています。一般的に乗用車と比べて走行距離が多くなることから、クルマの状態をしっかりと把握することが大切です。

自家用貨物自動車等の日常点検は、この点検項目についてチェックしてください。

点検箇所	点検内容	年月日	
		判定・○×	
1 ブレーキ	① ブレーキ・ペダルの踏みしりが適当で、ブレーキの効きが十分であること。 <input type="checkbox"/> 【・ブレーキ・チャンパのロッドのストロークが適当であること】 (※1)【・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間が適当であること】	○	×
	② ブレーキ液の量が適当であること。	○	×
	<input type="checkbox"/> ③ 空気圧力の上がり具合が不良でないこと。	○	×
	<input type="checkbox"/> ④ ブレーキ・ペダルを踏み込んで放した場合にブレーキ・バルブからの排気音が正常であること。	○	×
	⑤ 駐車ブレーキ・レバーの引きしりが適当であること。	○	×
2 タイヤ	① タイヤの空気圧が適当であること。(含むスペア・タイヤ)	○	×
	② 亀裂および損傷がないこと。	○	×
	③ 異状な摩耗がないこと。	○	×
	(※1) ④ 溝の深さが十分であること。	○	×
	(※2) ⑤ ディスク・ホイールの取付状態が不良でないこと。	○	×
3 バッテリー	(※1) ① 液量が適当であること。	○	×
4 原動機	(※1) ① 冷却水の量が適当であること。	○	×
	(※1) ② ファン・ベルトの張り具合が適当であり、かつ、ファン・ベルトに損傷がないこと。	○	×
	(※1) ③ エンジン・オイルの量が適当であること。	○	×
	(※1) ④ 原動機のかかり具合が不良でなく、かつ、異音がないこと。	○	×
	(※1) ⑤ 低速および加速の状態が適当であること。	○	×
5 灯火装置および方向指示器	① 点灯または点滅具合が不良でなく、かつ、汚れおよび損傷がないこと。	○	×
6 ウインド・ウォッシャーおよびワイパー	(※1) ① ウインド・ウォッシャーの液量が適当であり、かつ、噴射状態が不良でないこと。	○	×
	(※1) ② ワイパの払拭状態が不良でないこと。	○	×
7 エア・タンク	<input type="checkbox"/> ① エア・タンクに凝水がないこと。	○	×
8 運行において異常が認められた箇所	当該箇所に異常がないこと。	○	×

注：(※1)印の点検は、当該自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りる。

(※2)印の点検は、車輛総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車に限る。

○印の点検は、エア・ブレーキを用いた自動車についての点検を示す。